**日本臨床発達心理士会千葉支部２０１４年度第１回資格更新研修会**

**日時２０１４年５月２５日(日) ９時３０分～１２時３０分**

会場千葉大学西千葉キャンパス(千葉市稲毛区弥生町１－３３) 教育学部１号館大会議室

ＪＲ西千葉駅または京成みどり台駅より徒歩７分＊車の乗り入れはできません

<午前の部> ９時３０分～１２時３０分(９時００分受付開始)

○テーマ　乳幼児期の発達障害への支援

「育ちをうながし、親子のかかわりを深めるために」

～健診後の親子教室のあり方について～

○企画趣旨

発達障害への支援は、人生のどの時点においても大切なことですが、特に乳幼児期に早期に気づき、早期に支援を始めることが、子どもの健全な成長を促す大きな助けになります。私たちは、今まで早期の気づきのために様々な提案を行ってきましたが、気づくと同時に支援を始めることが求められています。健診における気づきの後に、母親への支援として、私たちは何を考えていけばよいのでしょうか。

心理職には母親の気持ちを受け止め、寄り添い、育児の意欲を保つよう支え、発達障害への理解を深め、必要な情報を提供し、状況により専門機関へつなぐなどの様々な役割があります。しかし、最も大切なことは、子の育ちをうながし、親子のかかわりを深めるための援助を、早期に、具体的に行うことです。現在も健診後の支援の場として「親子教室」のような場がありますが、地域によっては十分生かされていなかったり、そのようなものが全くないところもあります。私たちはあらためて、発達障害への早期支援の視点から「親子教室」の役割を見なおし、その在り方について考えてみたいと思います。

○内容

・支部長挨拶、講師紹介５分企画趣旨説明１５分

１）成田市における親子教室設立の経緯について

講師： 齊藤順子（成田市健康増進課・言語聴覚士・臨床発達心理士） ４０分

２）親子教室の具体的な運営と内容について1時間30分

講師：高山雅子（成田市たんぽぽ教室講師（親子教室）・東京福祉専門学校非常勤講師）

３）「親子教室のあり方について」参加者による質疑、意見交換、アンケート記入２０分

２０１４年度千葉支部総会１２時３０分～１３時００分

<午後の部> １３時３０分～１６時３０分(１３時００分受付開始)

○テーマ地域の放課後等デイサービスと学校との連携による支援の可能性

～発達障害のある子どもや家族への連携による支援～

○企画趣旨

発達障害のある子どもや家族への支援において、地域の最も身近な支援機関である放課後等デイサービスと学校との連携による支援が進んでいる。学校や園と家庭とでは解決しにくい困難な状況に陥ってしまっている場合に、地域の放課後等デイサービスとの連携による支援が有効な手立てとなっているケースも見られる。

今回の研修会では、千葉県内の放課後等デイサービスや連絡協議会の立ち上げに取り組んできた、松浦俊弥先生(東京福祉大学)より、放課後等デイサービスにかかわる制度や歴史、千葉県内の現状等についての講義をしていただく。また、連携による支援について、小学校の現場からと、サービス事業所から話題提供をしていただく。

これらをとおして、発達障害のある子どもとそのご家族への支援の具体策としての、地域の放課後等デイサービスと学校との連携の現状・あり方と今後の可能性について考える研修会としたい。

○内容

・企画趣旨説明、講師・話題提供者紹介１０分

・「放課後等デイサービスにかかわる制度と、千葉県内の現状について」５０分

松浦俊弥(東京福祉大学、前「千葉県障害児の放課後休日活動を保障する連絡協議会」事務局長)

・｢学校と地域のサービスとの連携による支援について－小学校から｣３０分

堀彰人(八千代市立勝田台南小学校)

・「学校と地域のサービスとの連携による支援について－サービス事業所から」３０分

太田洋＃(特定非営利活動法人あごらWith八千代市手をつなく親の会)

・ディスカッション(質疑、意見交換、参加者からの話題提供) ３０分

・まとめ「放課後等デイサービスと学校との連携のあり方と可能性について」松浦俊弥２０分

ポイント：午前・午後各１ポイント(IDカードと参加記録ノートを必ず持参してください)

参加費：午前・午後各１０００円参加申込：有資格者については申込の必要はありません。

＊午前の部は専門職公開研修とし、保健所等にお知らせを発送する。

＊午後の企画は、県内の放課後・休日支援サービス事業所に案内を発送して参加を呼びかける。\_\_